

---

## 拡散方程式

右向きを正に  $x$  軸をとり，位置  $x$ ，時間  $t$  における状態量（例えば，気体中の粒子の濃度，固体中の温度）を  $\phi(x, t)$  とすると

$$\frac{\partial \phi(x, t)}{\partial t} = c^2 \frac{\partial^2 \phi(x, t)}{\partial x^2} \quad (1)$$

により拡散方程式が与えられる．ここで， $c$  は拡散係数である．

---

## フーリエ変換による解

無限区間における拡散方程式

$$\frac{\partial \phi(x, t)}{\partial t} = c^2 \frac{\partial^2 \phi(x, t)}{\partial x^2}$$

について，初期条件

$$\psi(x, 0) = p(x)$$

に対する解をフーリエ変換により求める．

拡散方程式，初期条件を  $x$  についてフーリエ変換する．

$\Phi(\omega, t) = \mathcal{F}[\phi(x, t)]$ ， $P(\omega) = \mathcal{F}[p(x)]$  とすると，フーリエ変換した拡散方程式は

$$\frac{d\Phi(\omega, t)}{dt} = -c^2 \omega^2 \Phi(\omega, t)$$

---

初期条件は

$$\Phi(\omega, 0) = P(\omega)$$

$\Phi(\omega, t) = e^{\lambda t}$  とすると, 特性方程式の解は  $\lambda = -c^2\omega^2$  より, 解は

$$\Phi(\omega, t) = Ce^{-c^2\omega^2 t}$$

ただし,  $C$  は任意定数である.

初期条件より

$$\Phi(\omega, 0) = C = P(\omega)$$

であるから

$$\Phi(\omega, t) = P(\omega)e^{-c^2\omega^2 t}$$

---

フーリエ逆変換により解  $\phi(x, t)$  を求める.

ガウス関数  $f(t) = e^{-at^2}$  のフーリエ変換 (第9回参照) を利用して

$$\mathcal{F}^{-1}[e^{-c^2\omega^2 t}] = \sqrt{\frac{1}{4\pi c^2 t}} e^{-\frac{x^2}{4c^2 t}}$$

よって, たたみ込みの性質を用いると, 拡散方程式の解は

$$\begin{aligned}\phi(x, t) &= \mathcal{F}^{-1}[\Phi(\omega, t)] \\ &= \int_{-\infty}^{\infty} p(\tau) \sqrt{\frac{1}{4\pi c^2 t}} e^{-\frac{(x-\tau)^2}{4c^2 t}} d\tau\end{aligned}$$

---

## 境界条件に対する解

有限区間  $0 \leq x \leq L$  における拡散方程式

$$\frac{\partial \phi(x, t)}{\partial t} = c^2 \frac{\partial^2 \phi(x, t)}{\partial x^2}$$

について、境界条件が

$$\begin{cases} \phi(0, t) = 0 \\ \phi(L, t) = 0 \end{cases}$$

初期条件が

$$\phi(x, 0) = p(x)$$

により与えられている.

解を  $\phi(x, t) = \xi(x)\zeta(t)$  と仮定して拡散方程式へ代入して整理すると

$$\frac{1}{c^2 \zeta(t)} \frac{d\zeta(t)}{dt} = \frac{1}{\xi(x)} \frac{d^2 \xi(x)}{dx^2}$$

お互いに無関係なものが等しいのは、定数の場合である.

---

(i) 定数が正の場合, 定数を  $\omega^2$  として

$$\begin{cases} \frac{d\zeta(t)}{dt} = (c\omega)^2 \zeta(t) \\ \frac{d^2\xi(x)}{dx^2} = \omega^2 \xi(x) \end{cases}$$

第1式の解は,  $c_0$  を任意定数として

$$\zeta(t) = c_0 e^{(c\omega)^2 t}$$

第2式の解は,  $c_1, c_2$  を任意定数として

$$\xi(x) = c_1 e^{\omega x} + c_2 e^{-\omega x}$$

よって, 解は

$$\phi(x, t) = (c'_1 e^{\omega x} + c'_2 e^{-\omega x}) e^{(c\omega)^2 t}$$

ここで,  $c'_i = c_0 c_i$  ( $i = 1, 2$ ) としている.

---

解を境界条件に代入すると

$$\begin{cases} c'_1 + c'_2 = 0 \\ c'_1 e^{\omega L} + c'_2 e^{-\omega L} = 0 \end{cases}$$

よって、 $c'_1 = 0$ ,  $c'_2 = 0$ であるが、拡散方程式の解として不適である.

---

(ii) 定数が零の場合

$$\begin{cases} \frac{d\zeta(t)}{dt} = 0 \\ \frac{d^2\xi(x)}{dx^2} = 0 \end{cases}$$

第1式の解は,  $c_0$  を任意定数として

$$\zeta(t) = c_0$$

第2式の解は,  $c_1, c_2$  を任意定数として

$$\xi(x) = c_1x + c_2$$

よって, 解は

$$\phi(x, t) = c'_1x + c'_2$$

ここで,  $c'_i = c_0c_i$  ( $i = 1, 2$ ) としている.



---

解を境界条件に代入すると

$$\begin{cases} c_2' = 0 \\ c_1' L + c_2' = 0 \end{cases}$$

よって、 $c_1' = 0$ ,  $c_2' = 0$ であるが、拡散方程式の解として不適である.

---

(iii) 定数が負の場合，定数を  $-\omega^2$  として

$$\begin{cases} \frac{d\zeta(t)}{dt} = -(c\omega)^2 \zeta(t) \\ \frac{d^2\xi(x)}{dx^2} = -\omega^2 \phi(x) \end{cases}$$

第1式の解は， $c_0$  を任意定数として

$$\zeta(t) = c_0 e^{-(c\omega)^2 t}$$

第2式の解は， $c_1, c_2$  を任意定数として

$$\xi(x) = c_1 \cos \omega x + c_2 \sin \omega x$$

よって，解は

$$\phi(x, t) = (c'_1 \cos \omega x + c'_2 \sin \omega x) e^{-(c\omega)^2 t}$$

ここで， $c'_i = c_0 c_i$  ( $i = 1, 2$ ) としている.

---

解を境界条件に代入すると

$$\begin{cases} c'_1 = 0 \\ c'_1 \cos \omega L + c'_2 \sin \omega L = 0 \end{cases}$$

$c'_2 \sin \omega L = 0$  より  $\omega L = n\pi$  ( $n = 1, 2, \dots$ ) である.

$\omega_n = \frac{n\pi}{L}$  に対応する解は

$$\phi_n(x, t) = c'_{2n} \sin \frac{n\pi x}{L} e^{-(\frac{n\pi c}{L})^2 t}$$

ただし,  $n = 1, 2, \dots$  である.

---

以上より、与えられた境界条件を満たす拡散方程式の解は

$$\begin{aligned}\phi(x, t) &= \sum_{n=1}^{\infty} \phi_n(x, t) \\ &= \sum_{n=1}^{\infty} c_n \sin \frac{n\pi x}{L} e^{-(\frac{n\pi c}{L})^2 t}\end{aligned}$$

ここで、 $c_n = c'_{2n}$  は初期状態によって決まる定数である.

初期条件に解を代入して

$$\phi(x, 0) = \sum_{n=1}^{\infty} c_n \sin \frac{n\pi x}{L} = p(x)$$

上式の両辺に  $\sin \frac{m\pi x}{L}$  を掛けて  $0 \leq x \leq L$  で積分することにより

$$c_n = \frac{2}{L} \int_0^L p(x) \sin \frac{n\pi x}{L} dx$$

---

以上より、与えられた境界条件，初期条件を満たす拡散方程式の解は

$$\phi(x, t) = \sum_{n=1}^{\infty} \left\{ \frac{2}{L} \int_0^L p(x) \sin \frac{n\pi x}{L} dx \right\} \sin \frac{n\pi x}{L} e^{-(\frac{n\pi c}{L})^2 t}$$